

令和4年3月15日

上越市長 中川 幹太 様

名立区地域協議会
会長 原田 秀樹

ろばた館の存続について（意見書）

このことについて、当協議会において下記のとおり意見を取りまとめましたので、提出いたします。

記

1 名立区地域協議会における検討経過

（1）自主的審議事項前の検討

当協議会においては、平成29（2017）年に、「ろばた館の存続について」を自主的審議事項として協議することも視野に入れ、勉強会形式で検討・協議を始めました。

その後、情報収集や意見交換を経る中で、ろばた館が「地域の生活環境の改善及び活性化を図り、市民の福祉の向上に資するための地域活性化施設」として設置されたことに立ち返るとともに、今後の名立区の地域活性化に向け、ろばた館の運営に対して地域として具体的かつ実効性のある取組を検討しなければならない時期に来ているものと考え、平成30（2018）年3月に自主的審議事項として審議を開始しました。

（2）住民意向調査の計画

自主的審議事項の審議に当り、地域住民の意向を把握するため、平成30（2018）年に区内住民へのアンケート実施を計画しましたが、市担当課との調整が整わず、最終的にアンケートを中止としたこともあり、その後、審議は一時中断となりました。

（3）市の考え方

その後も勉強会による情報収集と意見交換を継続してきた中で、市からは令和2（2020）年2月の行政懇談会において、ろばた館を廃止の方向で、また、同年7月の勉強会において、温浴と食堂機能を廃止する方向で検討したいとの報告がありました。さらに、同年9月の地域協議会で「第4次上越市公の施設の適正配置計画」において、ろばた館を「引き続き協議」とする方針が示されたことを受け、自主的審議を再開しました。

2 地域住民の意向調査

(1) 意見交換等

自主的審議事項として審議を再開するにあたり、ろばた館に関係する多くの団体との意見交換や総合事務所による行政懇談会の場を借りての地域住民との意見交換、区民へのアンケート調査による意向の把握や意見聴取を行いました。

(2) 住民アンケート実施

ろばた館に関するアンケートについては名立区内の年齢構成に応じて無作為抽出した800人に依頼し、約50%にあたる397件の回答がありました。

なお、アンケート結果からはろばた館が地域にとって「温浴施設」「地域の憩いの場、集いの場」として愛着が深いことが伺えるとともに、今後もろばた館の存続を望む回答が多く寄せられました。

3 意見の取りまとめ内容

委員や住民の中には市からのろばた館の廃止又は一部機能の廃止理由について一定の理解を示す意見もありましたが、関係団体との意見交換やアンケート結果において、また、委員の中にも施設の存続を望む声が多かったことから、総括的な考察・検討を行った結果、次のとおり意見を取りまとめました。

- (1) 人口減少・少子高齢化が進行する名立区における地域活性化、中山間地域振興の中心施設として今後も存続が必要である。
- (2) 温浴施設として存続することで地域住民にとっては憩いや集いの場になるとともに、名立区外からの交流人口増加につながる。
- (3) 地域防災施設（避難所）として新型コロナウイルス等の感染症対策に配慮した一定のスペースを確保できる施設であり、防災備品の保管も可能であることから、地域住民の安全安心な暮らしを維持するために、近隣の公民館上名立分館では代替できない施設である。

以上のことから、ろばた館を現在の機能を維持したまま存続することを求めるものです。

なお、ろばた館の機能維持も含め、存続可能な運用方法を見出すべく、名立のまちづくりの将来像である「名立まちづくり計画」を策定した名立まちづくり協議会とも連携し、地域の活性化、中山間地域振興に向けた施設活用について、当協議会を中心に区内で継続的に協議する場を設けていく考えです。

<添付資料>

- ・名立区地域協議会での審議経過
- ・ろばた館に関するアンケート 集計結果

名立区地域協議会での審議経過

平成 29 年度～令和 3 年度

平成 29 年度	
10 月 30 日(金)	勉強会（第 7 回地域協議会終了後）
12 月 15 日(金)	勉強会（第 9 回地域協議会終了後）
1 月 25 日(木)	勉強会（第 10 回地域協議会終了後）
2 月 21 日(水)	勉強会（第 11 回地域協議会終了後） ※自主的審議事項とすることを決定
3 月 20 日(火)	第 12 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
平成 30 年度	
4 月 16 日(火)	第 1 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
5 月 14 日(火)	正・副会長等へのアンケート中止に係る経過と今後の対応について説明及び協議（名立区総合事務所 第 3 会議室） ※自治・地域振興課、名立区
5 月 26 日(火)	勉強会（第 2 回地域協議会終了後）
9 月 28 日(金)	勉強会（第 6 回地域協議会終了後） ※行政改革推進課、自治・地域振興課からの説明及び質疑応答
10 月 25 日(木)	勉強会（第 7 回地域協議会終了後）
令和元年度	
8 月 27 日(火)	勉強会（第 5 回地域協議会終了後） ※農村振興課による現状説明及び質疑応答
9 月 4 日(水)	農村振興課による正・副会長への事前説明 （名立区総合事務所 第 3 会議室）
9 月 25 日(水)	勉強会（第 6 回地域協議会終了後） ※農村振興課による現状説明及び質疑応答
10 月 24 日(木)	勉強会（第 7 回地域協議会終了後） ※委員間での意見交換
12 月 26 日(木)	農村振興課と正・副会長との協議 （名立区総合事務所 第 3 会議室）
1 月 27 日(月)	第 11 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
令和 2 年度	
7 月 2 日(木)	勉強会（第 3 回地域協議会終了後） ※農村振興課による現状説明及び質疑応答
9 月 17 日(木)	第 5 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
10 月 8 日(木)	第 6 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
10 月 20 日(火)	第 7 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
11 月 26 日(木)	第 8 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※委員から前回のアンケートが直前になり中止になってしまった。民意を行政に届ける方法を考えてほしいとの意見あり。
12 月 15 日(火)	第 9 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※委員から以前断念したアンケートについて内容を再検討して実施したらどうかの意見あり。

1月19日(火)	第10回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※会長からアンケート内容について分科会で検討したらどうか提案あり。
2月24日(水)	第11回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※2分科会を開催し、継続審議することに決定
3月3日(水)	第1回第2分科会（関係団体との懇談会で出された意見の整理）
3月4日(木)	第1回第1分科会（ろばた館に関するアンケート内容の検討）
令和3年度	
4月8日(木)	第2回第2分科会（関係団体との懇談会で出された意見の整理）
4月15日(木)	第2回第1分科会（ろばた館に関するアンケート内容の検討）
4月20日(火)	第1回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※各分科会報告（アンケート内容の検討）
5月19日(水)	第3回第1分科会（ろばた館に関するアンケート内容の検討）
6月17日(木)	第1・第2合同分科会（アンケート内容と実施日程の検討）
6月29日(火)	第3回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※アンケート実施(案)についての確認
7月21日(水)	第4回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※アンケートの発送準備について
9月10日(金)	第1・第2合同分科会（アンケート速報値の確認及び今後の進め方の検討）
10月6日(水)	第3回第2分科会（アンケート結果を受けた分科会としての意見まとめ）
10月7日(木)	第4回第1分科会（アンケート結果を受けた分科会としての意見まとめ）
10月19日(火)	第7回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※各分科会報告（分科会での議論結果を報告）
10月19日(火)	第1・第2合同分科会（意見集約の方法の検討）
11月10日(水)	第4回第2分科会（意見集約に向けた分科会の意見まとめ）
11月11日(木)	第5回第1分科会（意見集約に向けた分科会の意見まとめ）
11月22日(月)	第1・第2分科会の意見すり合わせ
11月24日(水)	第8回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※各分科会報告（分科会での議論結果を報告）
11月24日(水)	第1・第2合同分科会（意見書の構成の検討）
12月16日(木)	第9回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※意見書(案)について
12月16日(木)	第1・第2合同分科会（意見書(案)について）
1月26日(水)	第10回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※意見書の構成について
2月22日(火)	第11回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※意見書(案)について
3月14日(月)	第12回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※意見書(案)について

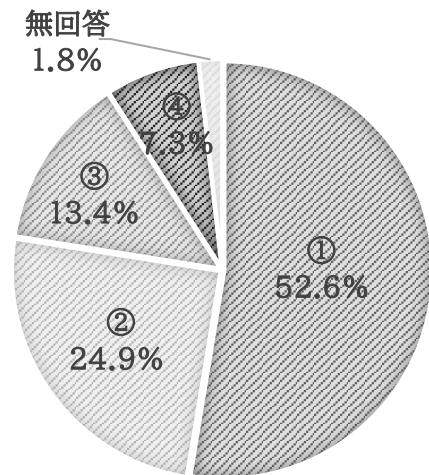
※勉強会、分科会は非公開

ろばた館に関するアンケート 集計結果

- 実施期間：令和3年7月28日～8月18日
 - 送付数：800通（18歳以上の区内住民から区内の年齢構成に応じて無作為抽出）
 - 回答数：397件
 - 回答数：49.6%
- ※複数回答の設問もあるため、回答数の合計は異なります。

○お住まいの地区は

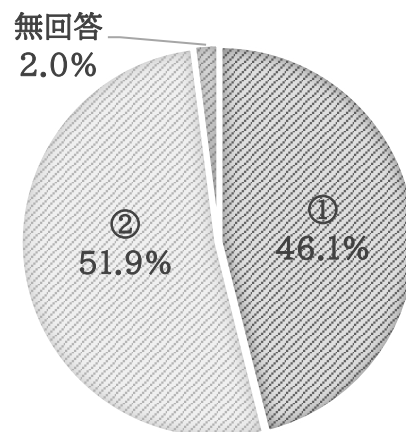
項目	回答数（比率）	地区別回答率
① 北部地区	209（52.6%）	43.2%
② 下名立地区	99（24.9%）	58.9%
③ 上名立地区	53（13.4%）	65.4%
④ 不動地区	29（7.3%）	43.3%
無回答	7（1.8%）	—



名立区内の居住分布を反映した割合になっています。

○性別は

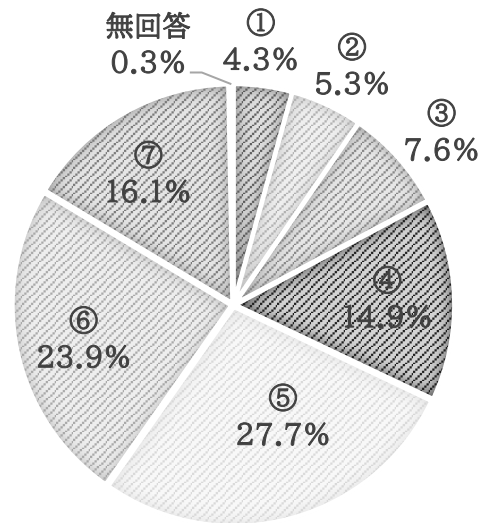
項目	回答数（比率）
① 男性	183（46.1%）
② 女性	206（51.9%）
無回答	8（2.0%）



区内の男女構成比とほぼ同様になっています。

○年齢は

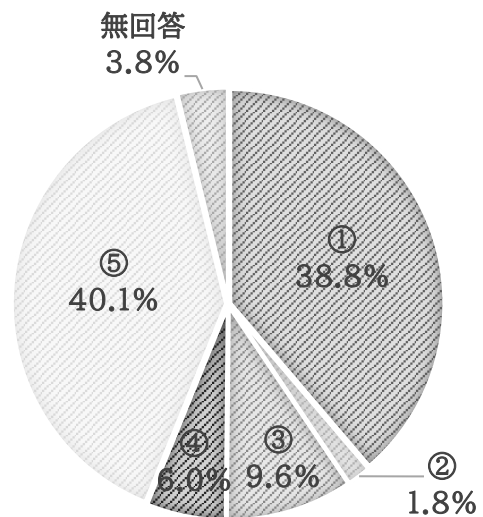
項目	回答数 (比率)
① 18歳～29歳	17 (4.3%)
② 30歳代	21 (5.3%)
③ 40歳代	30 (7.6%)
④ 50歳代	59 (14.9%)
⑤ 60歳代	110 (27.7%)
⑥ 70歳代	95 (23.9%)
⑦ 80歳代	64 (16.1%)
無回答	1 (0.3%)



年齢区分で無作為抽出したため、年齢構成比が高い60代～80代の回答が約7割を占めています。

○ご職業は

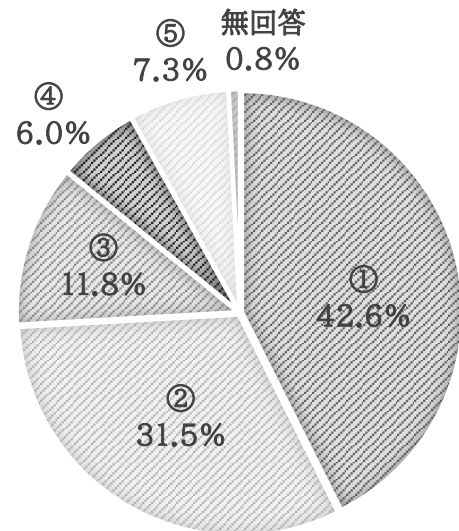
項目	回答数 (比率)
① 無職	154 (38.8%)
② 学生	7 (1.8%)
③ 漁業・農業	38 (9.6%)
④ 自営業	24 (6.0%)
⑤ 会社員・公務員	159 (40.1%)
無回答	15 (3.8%)



会社員・公務員と無職が多くなっています。

問 1. 何回程度ろばた館を利用しますか（食事のみを含む）

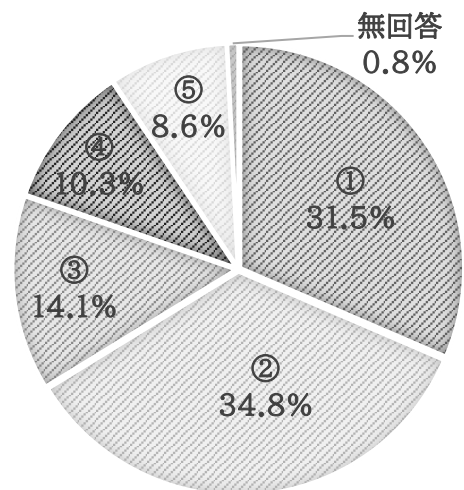
項目	回答数（比率）
① 全く利用しない	169（42.6%）
② 年2～3回程度	125（31.5%）
③ 年5～6回程度	47（11.8%）
④ 月1回程度	24（6.0%）
⑤ それ以上	29（7.3%）
無回答	3（0.8%）



ろばた館を全く利用しない人が約 4 割ですが、区内でも比較的ろばた館から遠い北部地区の回答者が約 5 割であることを考えると相応の結果ではと推察します。また、頻繁（月 1 回以上）に利用する人も 1 割以上いました。

問 2. 何回程度うみてらす名立のゆららを利用しますか（食事のみを含む）

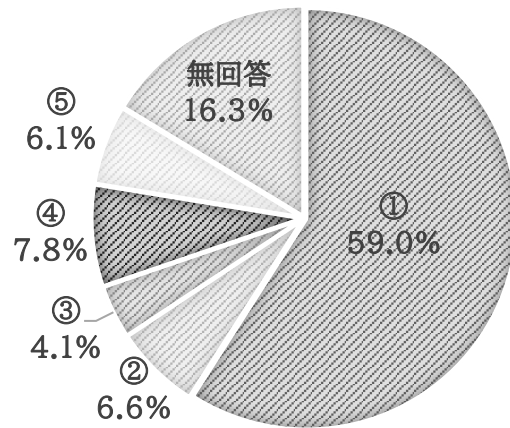
① 全く利用しない	125（31.5%）
② 年2～3回程度	138（34.8%）
③ 年5～6回程度	56（14.1%）
④ 月1回程度	41（10.3%）
⑤ それ以上	34（8.6%）
無回答	3（0.8%）



ろばた館とゆららを比較した設問ですが、全く利用しない人が約 3 割と意外に多くいる一方、頻繁（月 1 回以上）に利用する人も 2 割弱とかなり多くいました。

問 3. ろばた館を利用する場合どの時期が多いですか

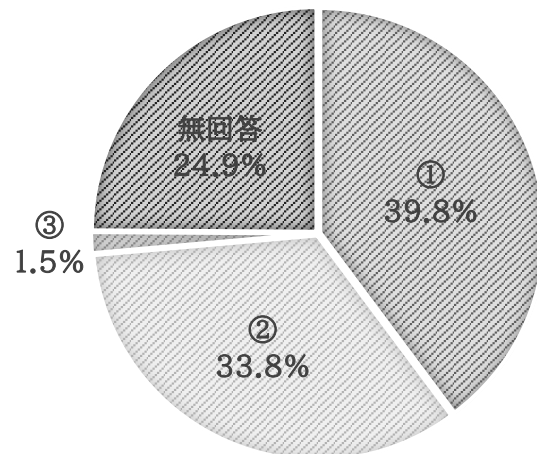
項目	回答数 (比率)
① 特に時期関係ない	242 (59.0%)
② 春	27 (6.6%)
③ 夏	17 (4.1%)
④ 秋	32 (7.8%)
⑤ 冬	25 (6.1%)
無回答	67 (16.3%)



利用する時期については、季節による影響はあまり見られませんでした。

問 4. ろばた館を利用する場合どの日が多いですか

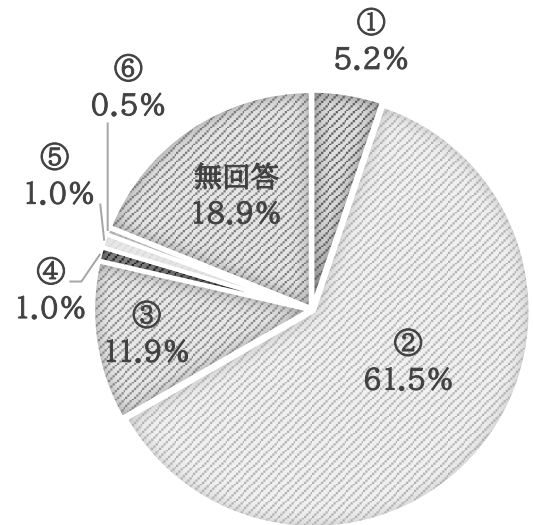
項目	回答数 (比率)
① 平日	161 (39.8%)
② 土曜・日曜	137 (33.8%)
③ 祝日	6 (1.5%)
無回答	101 (24.9%)



曜日による利用の偏りはあまり見られませんでした。

問 5. ろばた館を利用する主な交通手段は

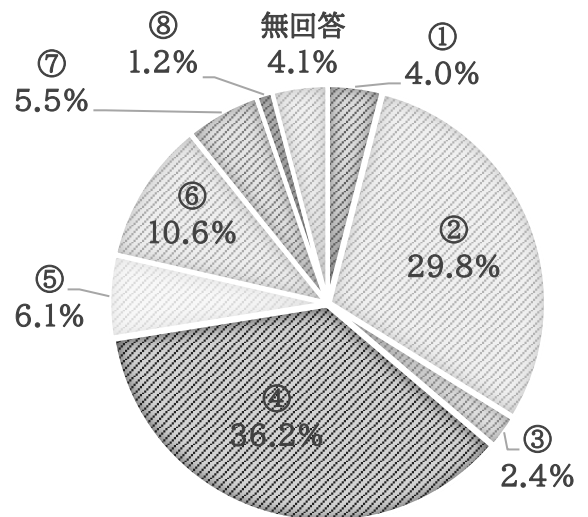
項目	回答数 (比率)
① 市営バス	21 (5.2%)
② 自身所有自家用車	248 (61.5%)
③ 友人知人の自家用車同乗	48 (11.9%)
④ 徒歩	4 (1.0%)
⑤ バイク・自転車・電動セニアカー	4 (1.0%)
⑥ その他	2 (0.5%)
無回答	76 (18.9%)



自家用車の方が一番多く、次に友人知人の乗り合わせとなっていますが、利用促進している市営バス利用は5.2%となっています。

問 6. あなたにとってろばた館とはどのような施設ですか (複数回答可)

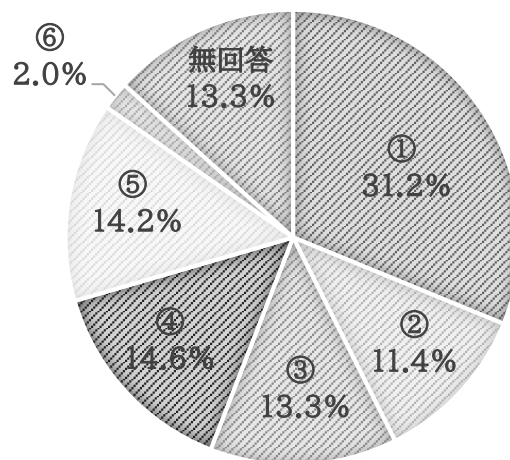
項目	回答数 (比率)
① 避難所	26 (4.0%)
② 地域の憩い、集いの場	195 (29.8%)
③ 都市と農村の交流の場	16 (2.4%)
④ 温浴施設	237 (36.2%)
⑤ 健康福祉の場	40 (6.1%)
⑥ 会議やイベントの場	69 (10.6%)
⑦ よくわからない	36 (5.5%)
⑧ その他	8 (1.2%)
無回答	27 (4.1%)



「温浴施設」としての認識が一番多く、次に「地域の憩い、集いの場」としての認識が多くなっており、その2点の認識で6割を超えています。

問 7. ろばた館を利用する主な理由は（複数回答可）

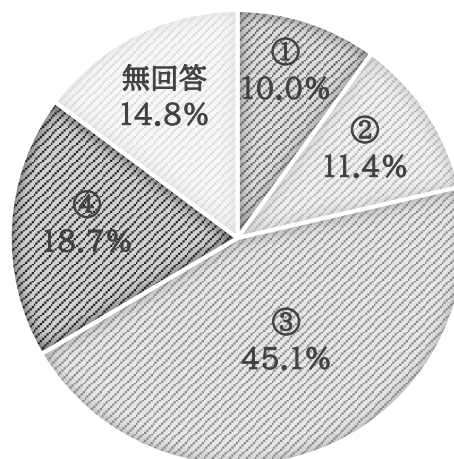
項目	回答数（比率）
① 気軽に利用できるから	218 (31.2%)
② 大広間や会議など施設がいいから	80 (11.4%)
③ 近いから	93 (13.3%)
④ 料金が安いから	102 (14.6%)
⑤ 温浴の泉質がいいから	99 (14.2%)
⑥ その他	14 (2.0%)
無回答	93 (13.3%)



泉質がいい温浴を、安価で気軽に利用できるという、ろばた館ならではの理由が現れています。

問 8. ろばた館の温浴機能について

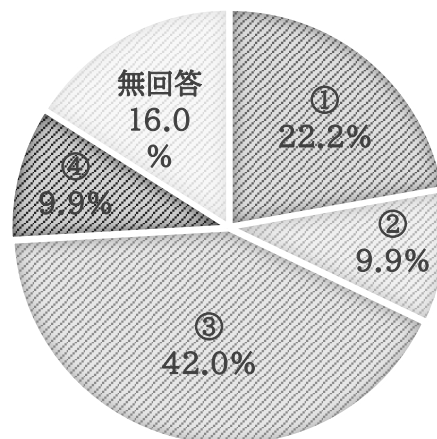
項目	回答数（比率）
① 温浴機能はなくてもいい	41 (10.0%)
② 料金が上がるならなくてもいい	47 (11.4%)
③ 多少の値上げがあっても温浴機能は必要	186 (45.1%)
④ 絶対に必要	77 (18.7%)
無回答	61 (14.8%)



温浴機能について、「絶対に必要」と「値上げがあっても必要」を合わせて6割を超えています。温浴機能を望む声が現れた形となっています。

問 9. ろばた館の食堂について

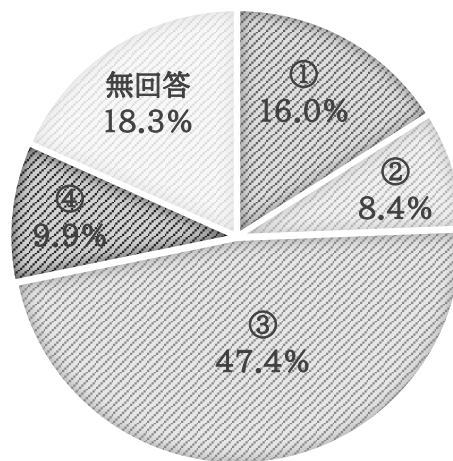
項目	回答数 (比率)
① 食堂はなくてもいい	90 (22.2%)
② 料金が上がるならなくてもいい	40 (9.9%)
③ 多少の値上げがあっても食堂は必要	170 (42.0%)
④ 絶対に必要	40 (9.9%)
無回答	65 (16.0%)



食堂の機能について、「絶対に必要」と「値上げがあっても必要」を合わせて5割を超えています。

問 10. ろばた館の貸館機能について

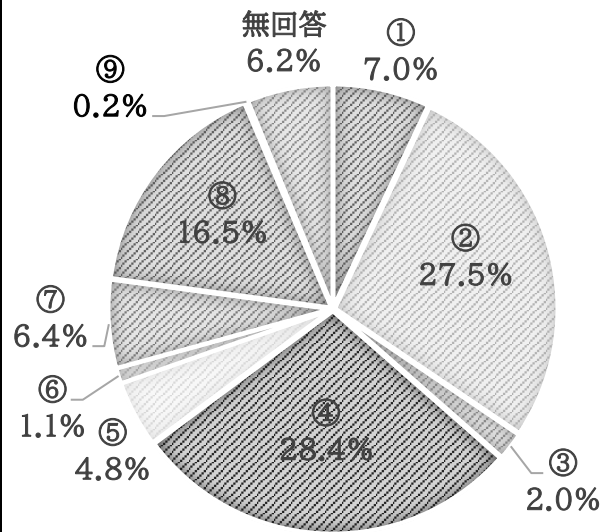
項目	回答数 (比率)
① 貸館機能はなくてもいい	65 (16.0%)
② 料金が上がるならなくてもいい	34 (8.4%)
③ 多少の値上げがあっても貸館機能は必要	192 (47.4%)
④ 絶対に必要	40 (9.9%)
無回答	74 (18.3%)



貸館機能について、「絶対に必要」と「値上げがあっても必要」を合わせて5割を超えています。安価で気軽に利用できるという問7の理由が、貸館機能においても当てはまるものと推察されます。

問 11. ろばた館が廃止となった場合いちばん困ることは

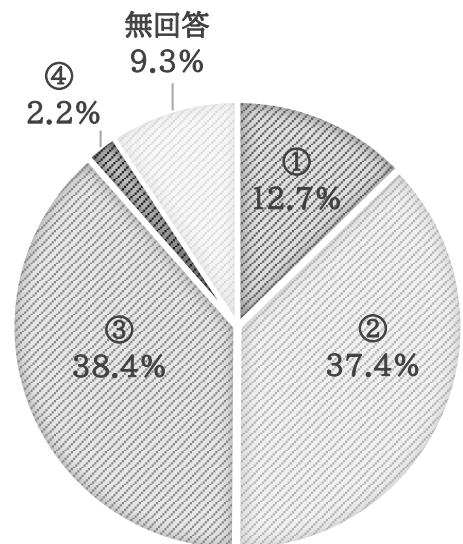
項目	回答数 (比率)
① 避難場所に困る	38 (7.0%)
② 地域の憩い、集いの場に困る	150 (27.5%)
③ 都市と農村の交流の場に困る	11 (2.0%)
④ 入浴や温泉を楽しむ場に困る	155 (28.4%)
⑤ 健康福祉の場に困る	26 (4.8%)
⑥ 食事場所に困る	6 (1.1%)
⑦ 会議やイベントの場に困る	35 (6.4%)
⑧ 特に困ることはない	90 (16.5%)
⑨ その他	1 (0.2%)
無回答	34 (6.2%)



「入浴や温泉を楽しむ場に困る」と「地域の憩い、集いの場に困る」という答えが合わせて5割を超えています。また、何らかの形で困る方が合わせて7割を超えています。本施設が重要な施設と多くの方が認識されていることが推察されます。

問 12. ろばた館の今後についてどう思いますか

項目	回答数 (比率)
① 公費が多く投入されている状況なので廃止する	52 (12.7%)
② 施設の機能を整理・検討し、必要な機能だけで存続する	153 (37.4%)
③ 料金の値上げや地域により運営の負担が増えることになって、行政・地区住民が一体となって継続的に存続の方法を探る	157 (38.4%)
④ その他	9 (2.2%)
無回答	38 (9.3%)



「行政・地区住民が一体となって継続的に存続の方法を探る」が一番多く、次に「必要な機能だけで存続する」が多くなっており、両回答を合わせたらろばた館の存続を求める回答が7割超と多くを占めています。

【継続希望】

- ・負担が増えても存続して欲しい。
- ・災害時の避難場所として、機能できる状態で存続できれば良いですが。
- ・各種会合（同級会・接待等）でお世話になりました。
中山間地域に住む人にとって必要な施設なのでなくさない方が良くと思います。多少の値上げはやむをえないと思います。
- ・ろばた館は絶対に必要。
- ・南部地域の憩いの場として地域に管理を委託するなど、運営形態を見直したとしても存続できる道を考えてほしい。
- ・地域の交流の場として絶対必要だと思う！
- ・名立区以外の人利用も多くあることから継続的にできるようにしてもらいたい。
- ・建設当時から比べれば当区も過疎化が進み、利用減になっている現状は理解しています。今後さらに過疎化していくとは思いますが、地区住民が寄り処としているろばた館を廃止すれば更に過疎化に拍車をかけることとなります。アンケートの依頼文の説明の中に公費投入額のこと記載されていますが、市の中心部に住む人も、過疎の当区に住む人も同じ税金を払っていますよ。公費削減には別の方法もあるのではないのでしょうか。行政はそこを良く考えていただきたい。『**廃止絶対反対！！**』
- ・地域活性化の為に必要な施設。イベント会場として区外からの人々を呼び込める事業ができると良いと思う。
- ・温浴施設があつてのろばた館であり、風呂がなければろばた館の存続意味がない。
- ・今まで通り温浴機能を残した上の継続的な存続の方法を探してほしい。
- ・年何回か友人同志で集まる場所です。ぜひなくさないでほしいです。
- ・公費負担が増えても何とか存続できないものですか？
- ・区外の方も多く利用されており、皆さん楽しく時を過ごされております。損得(赤字黒字)も必要ですが、今の時代安心安全な安らぎの場所も必要ではないのでしょうか？是非存続できるようよろしくご検討をお願いします。
- ・色々大変な時期でもありますが、集いの場を何とか検討していただきたいと思います。
- ・一年に利用する回数は少なくとも、この施設の設立の目的を果たしていると思われるので、多少の値上げがあっても受益者負担として当然と思うので存続を望みます。北部ばかり集中しがちなのには反対です。
- ・心のより所です。
- ・アンケートの質問と回答、添付資料だけを見ると施設は不要と判断されるかと思いますが、それは、問合せが閉館する前提での Q&A だからではないのでしょうか。今更言うまでも無いことですが、肝心なことは『存在の意味と想い』ではないのでしょうか。同施設は、近隣の方々や建設当時の名立役場で関わった方々が、現状と将来性を考慮し相当な時間をかけて検討した結果、最適な答えとして建設した施設です。利用者数が少ない事、公費投入されている事、建設以前から承知していた事かと思いますが。地域の公民館やコミュニティセンターなどと一緒に、必要な公費として考えて頂きたい。施設管理費が多額になることはどうにもならない事ですが、業

績改善に向けての取組にはまだ不足があると思います。イベント開催においても参加人数が少なく賑わいに欠けます。 解決策としては、これといったカンフル剤はありませんが、今まで以上に地域住民の協力や町内会長の協力を依頼して地味に協力者を増やして行く事が必要と思います。そして、年間計画をたて毎月イベントを実行していくこと（集客・売上確保）草刈など、環境整備計画をたてボランティアを募る事など（ファンを増やす）多少経費が必要になりますが、地域に依存する事が大切と思います。それには、総合事務所職員の積極的協力が必要不可欠と思います。現状では、一部職員（担当者・地元職員）の方が一生懸命に対応して頂いていますがもっと沢山の方（10～15名）に協力頂き地元の活性化、地域おこしに取組んで頂きたい。そして、何よりも“同施設をこうしたい”と強く想い積極的に実行していく事が必要です。

【廃止もやむを得ない、関心がない】

- ・日帰り温浴施設や交流施設等、同じ様な施設の増加や人口減少で利用する人の減少、開設した当時のことを思うと廃止するのは残念であるが、建物の存続は負担が多く難しいと思う。
- ・なくなってしまうのは残念ですが、仕方がないのかなと感じています。
- ・南部地区の方には必要な施設かもしれませんが、年々人口が減少して、利用者も減るばかりなので、多額の公費を使ってまで存続する意義があるのかと疑問に思います。
- ・利用者が少なくなったということは、必要性が減少したことにつながる 無いより有った方がよいが公費の投入が多額で経営が困難であれば廃止も致し方ない。
- ・いつも月1回位で会議で利用させて頂いています。上越からも来られる方がいて、月1回なのですが楽しみに利用させて頂いています。現状は厳しいようですね。
施設設備の老朽化となれば、多額な修理費もかかることでしょう。廃止となっても仕方ないと思います。(残念ですが…)
- ・区民に負担が及ぶことであれば反対です。
- ・利用していないのでわからない。

【改善の提案】

- ・入館料があってもよいのでは？入浴無しでも多少の金額で。
- ・町内会の総会等年間の中で利用を図る年間利用を取りまとめる。うみてらす等の送迎車を利用して人送を有する。定期的に町内会を軸に現状を周知する。利用会費制募り定期的に会合し現状を身近に周知する。
- ・入館料はぜったいに必要。
- ・入浴以外の場合も、入館料をとるべきと思う。(現在は無料)
- ・もっと上越市内全体に良い所をPRして、利用促進に努力してもらいたい。入館者にアンケート等を行い、利用者の意見を取り入れて運営に活用してもらいたい。
- ・チケットのような形で各戸に購入してもらえば、老人、成人、子供と分けて各戸一冊以上。
- ・利用したくなるようなイベント等を考えてほしい。子供達が楽しめるような、老人が楽しめるような、広い空間を生かして。お盆帰省される方に素泊まりでも出来ると…思います。
- ・土日祝日だけ営業するとか、毎日営業する必要はないのでは…？と思います。名立に住んでいても一度も利用したこともなく、営業日、営業時間もわからないので、そーゆー人もいるので、地元の人に知ってもらう、来てもらうことから考えてはどうでしょうか。割引クーポン、無料クーポンなどの配布。コロナがまだ終息していないので、手軽に貸切ができるようにする…とか。
- ・もっとPRすること。
- ・カフェやスイーツがあれば若いお客さんが来るのではないかな？ヨガ、ピラティスなどのイベントや体験があったらいいのでは？